

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	20102
課題名	ペルツズマブ併用化学療法における前投薬のインフュージョンリアクション予防効果に関する後ろ向きの検討
研究期間	倫理委員会承認日～2022年3月31日
研究の対象	2018年4月から2022年3月の間に当院でパージェタ(一般名 ペルツズマブ)を含む化学療法を受けた患者さん
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報(詳細:年齢、併用抗がん剤、アレルギー歴、治療の目的(術前治療、術後治療、進行再発に対する治療、前投薬の内容)、臨床検査値等) <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織(対象臓器等名:) <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他()
研究の意義、目的	パージェタにて治療を受けたときにインフュージョンリアクション(タンパク質でできた薬剤を、点滴した時に起こる発熱、息苦しさなどのアレルギー症状)が起こることがあります。本研究ではパージェタを投与する前に炎症を抑える薬剤を点滴することでインフュージョンリアクションの頻度を減らすことができるかを調べます。
研究の方法	パージェタを投与された患者さんのカルテ情報を調べ、インフュージョンリアクションが起こったかどうかを調べます。パージェタ投与前に炎症を抑える薬を使用した方、使用していない方で比較を行います。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電話番号 0166-69-3488 研究責任者：旭川医科大学病院 薬剤部 新田 悠一郎 (主任薬剤師)</p>